

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	未来につなぐまち	政策名	誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり						
施策 No.	14	施策名	生涯学習の推進						
主管課名	生涯学習・スポーツ課								
関係課名	地域協働課、図書館、水族博物館、埋没林博物館								
10年後の目指す姿	誰もが生涯にわたり身近で気軽に学び、歴史や自然、文化が適切に保存、継承、活用されています。								
施策の現状及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館や公民館（コミュニティセンター）において、生涯学習の環境づくりに取り組んでいます。 ・伝統芸能の保存・継承を支援するとともに、文化財の保存・活用に取り組んでいます。 ・博物館を適切に管理するとともに、企画展示や普及教育活動等を推し進め、情報発信を強化しながら博物館の魅力向上に取り組んでいます。 							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係や地域のつながりが希薄になる中、明日を担うひとづくりを進めていくためには、生涯学習を積極的に推進していく必要があります。 ・人口減少等を背景に、文化財等の滅失や散逸等の防止、管理のあり方が喫緊の課題となっており、地域社会全体で、その継承に取り組んでいく必要があります。 ・各博物館は経年劣化等が進んでいることから、様々な設備等について補修や改修等が必要です。 							
施策を進めるための役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが身近で気軽に学習できる環境を整えます。 ・図書館の充実に努めます。 ・文化財や地域資源等を社会全体で保存・活用できる環境の整備に努めます。 ・各博物館の展示・教育普及・調査研究等を充実させるとともに、魅力向上を図ります。 							
	市 民 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動に積極的に取り組みます。 ・文化財等の地域資源を理解し、保存や継承、活用に努めます。 ・本市の歴史や文化、自然を学び、次世代へ引き継ぎます。 ・博物館や図書館を学びや交流の場として活用します。 							
目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上							
	基本事業②	ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用							
	基本事業③	博物館の充実							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	28 (28)	28 (28)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	11 (11)	11 (11)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	14 (14)	14 (14)				
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	609,996	787,107				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	171,621	393,725				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	8,004	12,340				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	430,371	381,042				
基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円							
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	70	72					
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	29,400	29,480					
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	115,336	114,264					
F. トータルコスト（B+E）		千円	725,332	901,371					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の								
	G. 事業費（定義式：B/人口）		円	15,070	19,718				
	同 上								
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	2,849	2,862				
同 上									
I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円	17,920	22,580					
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	14	施策名	生涯学習の推進
基本事業名	①学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上		
基本事業の目的(意図)	市民の学習ニーズの把握に努め、図書館のサービスを充実しながら、生涯学習情報の提供や生涯学習教室の充実に努め、身近で気軽に学ぶことができる環境づくりを図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【放課後子ども教室推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館において、遊び、伝統芸能、サークル活動を実施し、放課後と土曜日のこどもたちの安全・安心な居場所を確保しました。(計16教室) 星の社小学校内の教室を活用し、放課後児童クラブと放課後子ども教室の「一体型」の星の社放課後子ども教室を実施しました。(令和2年10月開始) <p>【公民館活動振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区の社会教育振興会に委託し、高齢者学級をはじめとする各種公民館教室を開催するとともに、コロナ禍に対応した、従来の地区運動会の代替え事業としてウォークラリーなどの地域住民の交流事業を実施しました。 <p>【生涯学習振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会を年1回(10月25日)開催し、社会教育関連事業への意見等の提言を受けました。提言の概要については、令和4年12月に開催した教育委員会議にて「事務の点検及び評価結果」として報告しました。 初心者を対象とした生涯学習教室を修了した受講生で作る友の会では、20教室239名が学び続けました。恒例の生涯学習フェスティバルを開催(令和5年3月19日)しました。 <p>【青少年・家庭教育事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少年補導センターによる補導活動(少年補導委員29名)を警察と協力しながら行うとともに、青少年育成市民会議による青少年の健全育成のための実践活動や市民への普及啓発・広報活動(12月1日研修会実施)を行いました。また、市PTA連合会家庭教育委員会と連携して、子育て講演会や親子の学びの実践講習研修会を各園各校などで開催しました。友好親善都市である岡山県井原市との児童交流事業は、コロナ禍の状況を踏まえ、初めてオンライン(8月20日)にて実施しました。 <p>【成年・女性活動振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成年年齢を18歳に引き下げる民法の改正が行われる中、従来の成人式の在り方を検討しつつ、引き続き20歳を対象とする「二十歳のつどい」を、新成人等が参加する実行委員会により開催(令和5年1月8日)しました。 <p>【図書館資料収集保存提供事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書や雑誌、視聴覚資料等を収集保存するとともに、市民や利用者へ提供しました。令和2年度末からスタートした「うおづ電子図書館」の蔵書は2,835タイトルです。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	6.6	6.7	6.8 5.6	7.0 5.4	7.2	7.4	7.6	7.6
地区公民館活動の利用者総数	人	18,455	7,462	12,800 9,436	18,450 12,232	18,480	18,500	18,500	18,500

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 放課後子ども教室推進事業	1,970,000	1,688,616	281,384	B	地域協働課
2	一般会計	公民館一般管理事業	35,237,000	32,631,671	2,605,329	-	地域協働課
3	一般会計	○ 公民館大規模修繕事業(公民館施設整備事業)	607,703,000	292,679,273	315,023,727	B	地域協働課
4	一般会計	○ 公民館活動振興事業	9,455,000	9,038,881	416,119	A	地域協働課
5	一般会計	○ 生涯学習振興事業	3,171,000	2,859,606	311,394	B	生涯学習・スポーツ課
6	一般会計	成年・女性活動振興事業	1,512,000	1,353,854	158,146	-	生涯学習・スポーツ課
7	一般会計	青少年・家庭教育事業	1,792,000	886,147	905,853	-	生涯学習・スポーツ課
8	一般会計	図書館一般管理事業	36,020,000	33,585,695	2,434,305	-	図書館
9	一般会計	○ 資料収集保存提供事業	14,075,000	13,981,394	93,606	A	図書館
10	一般会計	○ 教養・普及事業	611,000	591,503	19,497	A	図書館
11	一般会計	図書館設備更新事業	4,552,000	4,428,575	123,425	-	図書館
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			716,098,000	393,725,215	322,372,785		

基本事業概要シート②

施策 No.	14	施策名	生涯学習の推進
基本事業名	②ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用		
基本事業の目的(意図)	魚津市の歴史や文化を調査、検証し、広く市民に紹介しながら、本市の貴重な財産である文化財等について、関係団体と連携しながら保存・継承・活用を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【文化財維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館行政に対する助言や意見を求めて、博物館協議会を開催(令和5年3月3日)しました。 <p>【文化財保存活用事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財写真フィルムや『魚津市誌』(昭和43年刊行)のデジタル化を行いました。 ・松倉城跡の魅力などを紹介する山城探訪ツアー(11月20日・19名参加)を行いました。 ・魚津まつりが3年ぶりに開催され、たてもん協力隊事業も規模を縮小しながらも募集(2日間でのべ108名の募集 ※2日目は雨で中止)しました。 ・たてもんの森の定期的な草刈りや枯れ木の捕植、周辺木の伐採等の環境整備事業と親子での草刈りイベント(5月21日・18名参加)を実施しました。また、たてもん祭りのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業として、県と高岡市、南砺市とともに、パネルディスカッションやパネル巡回展を開催しました。 ・コロナ禍により地域に伝わる伝統芸能の安定的な開催と保存継承が危ぶまれたため、今後の開催に向けた準備経費等の支援を行いました。 <p>【遺跡調査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松倉城跡では国指定に向けた、支城である升方城跡の石積み等の測量調査を実施しました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
文化財保存活用事業への年間延べ参加者数	人	1,289	898	900 901	1,290 926	1,310	1,330	1,350	1,400

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 文化財維持管理事業	2,424,000	1,634,901	789,099	A	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	遺跡調査事業	4,377,000	2,761,232	1,615,768	-	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	○ 文化財保存活用事業	11,883,000	7,943,894	3,939,106	A	生涯学習・スポーツ課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			18,684,000	12,340,027	6,343,973		

基本事業概要シート③

施策 No.	14	施策名	生涯学習の推進
基本事業名	③博物館の充実		
基本事業の目的(意図)	効果的な施設整備を進めるとともに、博物館の企画や展示を充実させ、積極的な情報発信により、来館者増加に努めながら、体験を重視した普及活動を進め、市民から必要とされる博物館づくりを図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【歴史民俗博物館事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史民俗資料館の解体工事のため、8月22日から臨時休館としました。休館前には、同資料館の展示や歴史についての解説会(8月11・13日)を行いました。また、同資料館の収蔵品を吉田記念郷土館内や市内収蔵スペースへ移設し、併せて、収蔵品のデータベース化を行いました。 6～10月、企画展「魚津城と松倉城」展を吉田記念郷土館にて開催するとともに、小学校6年生を対象に実施している「ふるさと発見バス」にて企画展見学会を実施しました。 <p>【水族館企画展事業】(計2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 春に市制70周年企画展「パイ展」、夏に企画展「トンガリ展」を開催しました。 <p>【水族館博物館事業】(計8回)</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍に配慮しながら、サポーター活動(4回)、魚津水辺の調査隊活動(4回)を行いました。 <p>【蟹気楼ネットワーク事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市制70周年事業として蟹気楼交流会を拡充し「蟹気楼フォーラム」を開催しました。 <p>【埋没林博物館教室事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 博物館教室として「作れるかな?蟹気楼」「万筆鏡をつくろう」等の講座を開催しました。 <p>【埋没林博物館展示事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市制70周年記念特別展富山湾のふしぎ魚津の三大奇観「魚津ナチュラルギャラリー-23」等の企画展を開催しました。 <p>【ジオパーク普及事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「松倉城と砂金ツアー」「スギの王国魚津!未来の洞杉をさがそう」等の講座を開催しました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
博物館入館者総数	人	202,940	119,993	126,000 134,767	200,000 184,399	204,000	205,000	207,000	210,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	歴史民俗博物館事業	13,651,000	12,887,576	763,424	-	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	○ 資料館収蔵品移設事業	5,502,000	4,285,661	1,216,339	A	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	博物館収蔵品等デジタル化事業	18,656,000	17,600,000	1,056,000	-	生涯学習・スポーツ課
4	水族館事業特別会計	水族館一般管理事業	163,739,950	160,565,069	3,174,881	-	水族博物館
5	水族館事業特別会計	水族館ホームページ運用事務	123,083	123,083	0	-	水族博物館
6	水族館事業特別会計	○ 水族館施設整備事業	24,545,800	23,456,000	1,089,800	A	水族博物館
7	水族館事業特別会計	○ 水族館企画展事業	1,320,000	129,911	1,190,089	A	水族博物館
8	水族館事業特別会計	○ 水族館博物館事業	4,108,610	3,584,257	524,353	A	水族博物館
9	予算なし	水族館事業特別会計繰出金	113,545,000	97,730,000	15,815,000	-	水族博物館
10	一般会計	○ 蟹気楼ネットワーク事業	1,059,000	884,486	174,514	A	埋没林博物館
11	一般会計	○ 埋没林博物館教室事業	69,000	41,416	27,584	A	埋没林博物館
12	一般会計	○ 埋没林博物館調査研究事業	1,508,000	1,464,487	43,513	A	埋没林博物館
13	一般会計	○ 埋没林博物館展示事業	7,772,000	6,592,620	1,179,380	A	埋没林博物館
14	一般会計	埋没林博物館一般管理費	53,713,300	51,697,460	2,015,840	-	埋没林博物館
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			409,312,743	381,042,026	28,270,717		

施策 No.	14	施策名	生涯学習の推進
令和4年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市内各公民館、新川学びの森天神山交流館、新川文化ホール、県民カレッジ新川地区センター(県立みどり野高校内)で生涯学習講座を開催しており、他市に劣らない充実した環境が整っています。 ◆市民一人当たりの図書貸出冊数は、前年度に比べて0.13冊減少し、5.43冊となりました。県内市の平均(令和3年度)は、4.44冊です。 ◆地区公民館の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底や工夫した事業の実施により、前年度の95,600人から104,274人(8,674人増:令和元年度比60,073人減)となっています。 <p>【③博物館の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆埋没林博物館の入館者数は、前年度の19,154人から27,453人(8,299人増:令和元年度比12,206人減)となっています。 ◆歴史民俗博物館の入場者数は、前年度の4,514人から4,075人(439人減:令和元年度比1,906人減)となっています。 ◆水族博物館の入館者数は、前年度の111,099人から152,871人(41,772人増:令和元年度比4,429人減)となっています。コロナ前の入館者数に戻りつつあります。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <生涯学習振興事業> ◆コロナ禍の影響のため、学びのきっかけづくりとして初心者を対象とした生涯学習教室は開催せず、教室を修了した受講生で作る友の会では活動を継続し、活動の成果発表の場である生涯学習フェスティバルは新川学びの森天神山交流館の賑わい創出事業(「What's学びの森」イベント)と同時間開催しました。 <図書館教養・普及事業> ◆図書館では、市制70周年記念シンポジウム「乱歩と魚津幻想」、読書会等各種教室・講座、おはなし会等を延べ154回開催し、延べ1,998人が参加しました。資料や図書等の展示を31回開催しました。 <公民館活動振興事業> ◆地区公民館においてそれぞれの地区の特性を活かした事業(高齢者学級、公民館教室、地域異世代交流)を実施し、地域住民の学習意欲の向上と地域の活性化につながりました。 <p>【②ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <遺跡調査事業> ◆松倉城跡では、指定候補地の升方城跡の石積み等の測量調査を実施し、国指定に向けた取組を進めました。 <文化財保存活用事業> ◆貴重な史料を後世に遺すために行った『魚津町誌』のデジタル化により、図書館での電子図書館事業で活用されるなど、広く閲覧できるようになりました。 ◆たてもんを将来地元産の木材で製作することを目指し、スギやケヤキ、ヒノキを植樹した「たてもんの森」の定期的草刈りや枯れ木の捕植等の管理や周辺環境整備を、次世代を担う子供たちなど親子で継続して実施し、後世への伝統継承を行いました。 <p>【③博物館の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <孫とお出かけ支援事業> ◆埋没林博物館と水族博物館が、高齢者の外出機会を促進し、世代間交流を通じて家族の絆を深め、地域の文化や歴史、科学や自然への関心を幅広い年齢層に広げることを目的に富山市が主管として実施している「孫とお出かけ支援事業」の連携市に加入しています。コロナ禍により休止していた水族博物館では、繁忙期以外で再開しました。 <歴史民俗博物館管理事業> ◆郷土の豊かな歴史と文化を知り、生活の移り変わりを学ぶ機会として、小学校を対象に実施している「ふるさと発見バス」にて企画展見学会を継続して実施しました。 <水族博物館事業> ◆コロナ禍に配慮しながら、民間企業とのタイアップイベントや調査研究を実施し、生物や自然環境についての理解を深めました。 ◆市制70周年記念事業の一環として「魚津の自然シリーズ ホタルイカ」を発刊しました。 <埋没林博物館博物館教室事業、埋没林博物館調査研究事業、埋没林博物館展示事業> ◆埋没林博物館では、主として魚津市民を対象に、年10回の博物館教室等の講座を実施し、郷土の自然に親しみ、その重要性や意義への理解を深めました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆本市における学習ニーズや教室の在り方等について検討し、市民が参加しやすい学びの環境を整えていきます。 ◆図書館では、市民ニーズにあった資料の充実、図書館や本に関する情報発信(HP、twitter)を行います。また、「うおづ電子図書館」の蔵書を充実させ、ネットによる読書活動の普及に努めます。 ◆公民館活動に地域への郷土愛を高め、地域の活性化を図る事例を学び、地区公民館の利用者増を図っていきます。 ◆公民館のコミュニティセンター化に向けて地域振興会を窓口に引き続き協議を行います。 <地域拠点施設整備事業>(施策1①再掲) ◆魚津市本江地域交流センターの建設事業について、近隣住民に配慮し、協力を得ながら本江公民館の解体工事や外構工事を進めていきます。 ◆松倉地区の拠点施設整備について、その規模や機能を松倉自治振興会と協議していきます。 ◆大町、上中島地区の小学校跡地の利活用に関して、引き続き、地域の関係者と協議していきます。 <p>【②ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市民が文化財への関心と理解を深め、地域に愛着や誇りを高め、さらには観光資源としての魅力を向上させ、交流人口の拡大や市内の賑わい創出につなげるために、企画展の開催や文化財の周辺整備、PR事業等を実施し、本市における未来へ引き継ぐ地域遺産(文化財等)の保存、継承、活用に努めます。 ◆松倉城跡の国指定に向けては、指定範囲における土地の境界や相続に係る諸課題等への取組みを、地元と連携して進めます。 ◆「たてもんの森」を見守り、育てながら、次世代への文化の継承と海と山をつなぐ文化を育む取組みを引き続き行います。 <p>【③博物館の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「孫とお出かけ支援事業」については、その効果と影響について調査・研究を行い、事業への対応を検討します。 ◆埋没林博物館では、罍気楼の動画等のコンテンツを充実させるとともに、InstagramやFacebook等も活用し、情報発信を強化していきます。また、カフェや木育キッズスペース等を活用した事業により、入館者が無料エリアからさらに有料エリアへ進むよう努めます。 ◆水族博物館では、従来の見せるイベントに加え、飼育員とのふれあい・対話型イベントを開催することで、解説パネルでは伝えられないタイムリーな情報を伝え、水族館の魅力の向上を図ります。また、より効率的で効果的な運営の在り方についても検討を進めていきます。 ◆社会教育施設等を計画的に効率的に維持運営していくためにも、個別施設の長寿命化計画に基づいて長寿命化を図っていきます。 			